

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33502	リビングスタイリスト演習 Living stylist	西村 和哉	✓		1	選択	1.2前期
科目の概要							
「住文化の変遷と新たな流れ」を学習し、生活空間をプランニングするために必要な基礎知識を修得します。インテリア用品を学び、「小住宅の作図実習」「リフォーム提案作図実習」を通じて課題を考察し作図、提案します。自己の価値観を確立しながらライフスタイルを自らデザインできる能力を身に付けます。(ディプロマ・ポリシーの ③に相当する。) 設計事務所にて住宅、店舗、公共建築等の設計活動を通じて養われた経験を基に、デザインの背景や理由等について理解を深め、実践的に生かせる講義内容とします。							
学修内容				到達目標			
① 戦後の日本を中心に住文化の概要を知り、説明出来るようになることを目的とする。 ② インテリア用品を学び、生活の中でどのような影響・効果を与えるのかを考察します。 ③ 小住宅の作図実習を行い、簡単な設計図書の作図が出来るようになることを目的とします。 ④ 具体的に、既存のインテリアについて課題点を考え、リフォーム提案実習を行います。				① 住文化の概要を理解し、説明することが出来る。(ディプロマ・ポリシーの ③に相当する。) ② インテリア用品を学び、その影響・効果について説明することが出来る。(ディプロマ・ポリシーの ③に相当する。) ③ 簡単な設計図書の作図を行うことが出来る。(ディプロマ・ポリシーの ③に相当する。) ④ 既存の自分の部屋について見直し、簡単なリフォーム提案を行うことが出来る。(ディプロマ・ポリシーの ③に相当する。)			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ア. 技能を習得するという目標に向かって指示が無くても自ら練習することが出来る。 イ. 課題を行うのに必要な知識を、文献、新聞等を使って自己学習することが出来る。					
	働きかけ力	ア. わからないときに相談することができる。					
	実行力	ア. 課題や作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることが出来る。					
考え抜く力	課題発見力	ア. 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることが出来る。					
	計画力	ア. 計画通りに進まないときは、計画を見直し修正出来る。					
	創造力	ア. 物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることが出来る。					
チームで働く力	発信力	ア. 整理した内容を、的確な文章で表現出来る。					
	傾聴力	ア. 人の意見を確認し、さらに自分の意見を考え、発言したり、課題に取り組むことができる。					
	柔軟性	ア. 自分と異なる価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	ア. 自分ができることを考え、またどんな影響を及ぼすか考え、目標に向かって努力できる。					
	規律性	ア. 遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	ア. 失敗した時や落ち込んだり動揺することがあっても、次に進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。 す。講義では使用しません。 参考文献1：モダンリビング（株式会社ハースト婦人画報社） 参考文献2：BRUTUS Casa （株式会社 マガジンハウス）				※「参考文献」は読むことが望ましい書籍の紹介です。 参考文献3：LIVES（株式会社第一プロGRESS）			
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：住まいの文化、住居管理、インテリアデザイン							
学修上の助言				受講生とのルール			
自主性を持って課題に取り組んでください。 参考文献等は必読ではないが読むことが望ましい。 リビングスタイリスト資格試験対策講座ではありません。 インテリアコーディネーター資格対策講座ではありません。そのための導入講座として興味を持って取り組んでください。 ※作図の授業時には定規（三角スケールが望ましい）、シャープ（製図用シャープペンが望ましい）、消しゴム等を用意すること。（購入時期は講義内で説明してからで問題ありません。）				事前準備が必要な課題、講義内で完成しなければならない課題、進み具合を確認しながらの課題もありますので、積極的に授業に参加すること。完成度、出来栄は出席数に比例します。また、許可（ネット検索等）がない限り携帯電話は、カバンに入れておくこと。時間と提出期限は厳守して下さい。提出課題はすべて提出すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	10	①	✓			・小テスト①「住文化の変遷について」を実施します。 授業内容を理解しているか確認する 穴埋め問題を出題する。配布資料は持ち込み可とする。 出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。 「住文化の変遷について-1、2」を学んでミニレポートも含み、現在の生活と比較して、自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。
				②				
				③				
				④				
		レポート	20	①	✓			・課題①「私の好きなリビング・インテリア」（10点） 事前にインテリアについて調べておく、好きな理由を自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。（800字以上＋写真添付） ・課題②「住文化の新たな流れ」を学んで。（10点） 様々な法律と現在の生活を通じて、自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。 ・第14週授業（オンデマンド）の出席確認としてGoogle classroomにレポートを提出します。
				②	✓			
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①				・成果発表①「作図実習」（30点） 図面の見方、書き方を学びます。 小さな住宅の作図を行い、その内部のインテリア提案をしてもらいます。 自分なりのアイディアで提案出来る能力を評価します。 ・成果発表②「自分の部屋のリフォーム提案」（30点） （※筆記試験の代わり） 自分の部屋の実測を行い、改善点をあげ、リフォーム提案を作成します。 インテリアでも主に「仕上げ」を意識し、プレゼンテーション能力も評価します。 ・前半授業で学んだ知識から課題解決されたかを評価します。
				②				
				③	✓			
				④	✓			
	学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） ・技能を習得するという目標に向かって指示が無くても自ら練習することが出来る。 ・課題を行うのに必要な知識を、文献、新聞等を使って自己学習することが出来る。（実行力） ・課題や作品を仕上げるための手順や方法を考えて目標に向かって進めることが出来る。（課題発見力） ・事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることが出来る。（創造力） ・物事を考える時に固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることが出来る。（発信力） ・整理した内容を、的確な文章で表現出来る。（傾聴力） ・人の意見を確認し、さらに自分の意見を考え、発言したり、課題に取り組むことができる。（規律性） ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・住文化の概要を理解し「自分の言葉」で説明することが出来ること。 ・作図実習では創造力を発揮し「自分のアイディア」、「自分の表現方法」で提案が出来ること。 ・インテリアについてのレポートでは、より多くの情報から理解し、「自らの考察」で課題点を探し、「自分の言葉」、「自分の表現方法」で説明が出来ること。 A(優)は、B(良)と比較し「自分の言葉」、「自分のアイディア」、「自分の表現方法」等で説明及び提案がなされていることが重要です。 その上で、さらに「アイディア」や「表現方法（プレゼン）」が卓越しているものには、S(秀)を付与します。	B(良) ・課題に意欲的に参加していること。 ・住文化の概要を理解し説明することが出来ること。 ・簡単な設計図書の作図が出来、説明と提案が出来ること。 ・インテリアについてのレポートでは、より多くの情報から理解し説明することが出来ること。 C(可) ・課題を提出していること。 ・住文化の概要を理解出来ること。 ・簡単な設計図書の作図が出来ること。 ・インテリアについてのレポートでは、多くの情報から理解出来ること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「ガイダンス」を行い、リビングスタイリスト試験、資格について学ぶ。	講義 (プリントとパワーポイント) インテリアに関する資格取得と仕事との関係を補足し、自分の考えを整理し、理解する。PCにてGoogle classroomの資料を閲覧します。	リビングスタイリスト試験、資格について理解する。	予習: PCにてGoogle classroomの資料を読んでくこと。 復習: 講義ノートを復習し自分なりに課題点を見つけること。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	「住文化の変遷について-1」古代から戦前までの住文化の変遷を勉強します。	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント資料) 現在の日常生活と比較し、身のまわりに対する意識を高める。	住文化の変遷を理解すること。古代から戦前までの住文化を理解する。	予習: PCにてGoogle classroomの資料を読んでくこと。 復習: 講義ノートを復習し、住文化の流れを理解すること。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	「住文化の変遷について-2」戦後の新たな住文化の流れを勉強します。	講義 (プリントとパワーポイント資料) 小テスト①「住文化の変遷について」フィードバック (回答、所見・解説を補足して、さらに深く理解する。)	戦後の新たな住文化の流れを理解する。 小テスト①実施、提出	予習: PCにてGoogle classroomの資料を読んでくこと。 復習: 講義ノートを復習し、住文化の流れを理解すること。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	「住文化の新たな流れ」建築基準法における新たな住文化の流れ(品格法・耐震改修・省エネ法・バリアフリー法・景観法等)を勉強します。	講義 (プリントとパワーポイント資料) レポート課題②「住文化の新たな流れ」フィードバック (所見・解説を補足して、さらに深く理解する。) ※最終提出第7週締切	住文化の新たな流れ、関連する法律を理解する。 レポート課題②提出	予習: PCにてGoogle classroomの資料を読んでくこと。 復習: 講義ノートを復習すること。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	「インテリア用品について-1」を学ぶ。	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント資料) 日常の生活空間が多様な素材で成り立っていることを理解し、インテリアへの意識を高める。	インテリア用品を学び、その影響・効果について理解する。	予習: PCにてGoogle classroomの資料を読んでくこと。 復習: 講義ノートを復習し、インテリア用品を理解すること。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	「インテリア用品について-2」を学ぶ。	講義 (プリントとパワーポイント) レポート課題①「私の好きなリビング・インテリア」フィードバック (所見・解説を補足して、さらに深く理解する。) ※最終提出第10週締切	インテリア用品を学び、その影響・効果について理解する。 レポート課題①提出	予習: PCにてGoogle classroomの資料を読んでくこと。レポート課題に採り上げる題材を調べる。 復習: 講義ノートを復習し、インテリア用品を理解すること。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	作図実習A-1 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (全体説明)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 講義 (プリントとパワーポイント) 図面の見方等、基本事項の説明と作図課題の説明を行います。過去の作品を説明し、理解し、自分の考えを整理する。	図面の見方を理解すること。	予習: PCにてGoogle classroomの資料を読んでくこと。 作図道具を調べる。 復習: プリント(図面の見方等)の復習。	90	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
8	作図実習A-2 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (主に平面図)	フィードバック (前回の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。製図用品を持参すること。PCにてインターネット、雑誌等で情報収集し分析します。	作図について理解する。 (主に平面図)	予習: 「どんな小屋にしたいか。」コンセプト考察する。 復習: 目標まで作図を進める。	90	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	作図実習A-3 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (主に平面図)	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。コンセプト考察し、内容を確認、所見を伝え作図に反映していく。	作図について理解する。 コンセプトを作図として書き込む。 (主に平面図)	予習:「どんな小屋にしたいか。」コンセプト考察する。 復習:目標まで作図を進める。	90	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	作図実習A-4 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (主に展開図)	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。コンセプト考察し、内容を確認、所見を伝え作図に反映していく。	作図について理解する。 平面図との整合性を理解する。 (主に展開図(窓・家具等))	予習:目標まで作図を進める。 復習:目標まで作図を進める。	90	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	作図実習A-5 小住宅の作図を勉強します。 成果発表① (主にプレゼンテーション)	作図実習を行います。製図用品を持参すること。コンセプト考察し、内容を確認、所見を伝え作図に反映していく。 成果発表①のフィードバック(所見・解説を補足して、さらに深く理解する。) ※最終提出第13週締切	作図について理解する。 図面を分かり易く仕上げる (主にプレゼンテーション) 成果発表①提出	予習:目標まで作図を進める。 復習:目標まで作図を進める	90	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	作図実習B-1 リフォーム提案の作図を勉強します。 (自分の部屋のリフォーム提案) 成果発表② (※筆記試験の代わり)	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 事前調査した自宅の作図実習を行います。製図用品を持参すること。過去の作品を説明し、理解し、自分の考えを整理する。	実際の状況をより正確に理解し、測量した寸法を元に正確に作図する。	予習:PCにてGoogle classroomの資料を読んでくこと。自宅の実際の状況をより正確に計し、間取りを理解する。 復習:目標まで作図を進める。	90	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	作図実習B-2 リフォーム提案の作図を勉強します。 成果発表② (※筆記試験の代わり)	フィードバック(前回の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。 PCにてインターネット、雑誌等で情報収集し分析します。	作図について理解する。	予習:「どんな部屋にしたいか。」コンセプト考察する。 復習:目標まで作図を進める。	90	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	作図実習B-3 リフォーム提案の作図のための手法、要素を勉強します。 成果発表② (※筆記試験の代わり)	オンデマンド授業。授業内で出題したレポート課題①②のまとめを動画視聴します。出席確認としてGoogle classroomにレポート課題を出題し、回答をもって出席とします。	動画中の講評から多様な視点を学び、さらに多角的に考察します。 的確な回答をもって到達レベルC(可)と評価します。	予習:「どんな部屋にしたいか。」コンセプト考察する。 復習:レポート課題に回答する。	90	課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
15	作図実習B-4 リフォーム提案の作図を勉強します。 成果発表② (※筆記試験の代わり)	フィードバック(第13週の授業の要点について振り返り説明) 作図実習を行います。 製図用品を持参すること。 コンセプト考察し、内容を確認、所見を伝え作図に反映していく。	作図について理解する。 成果発表②提出	予習:目標まで作図を進める。 復習:目標まで作図を進める。	90	働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力